

謹 賀 新 年



本年も皆様に愛される医療・介護施設を目指し、努力してまいります。
すばらしい一年でありますようお祈り申し上げます。 雄仁会職員一同

睡眠専門外来 開設のお知らせ

このたび、医療法人雄仁会 加藤病院では、睡眠に関するお悩みに専門的に対応する「睡眠専門外来」を新たに開設いたしました。現代社会において、睡眠の問題は年齢や性別を問わず広くみられます。不眠症をはじめ、過眠症、概日リズム睡眠障害、睡眠時無呼吸症候群、むずむず脚症候群、レム睡眠行動障害、夜間の異常行動など、その症状は多岐にわたります。これらの問題は、単に「眠れない」「日中に眠くなる」といった一時的な不調にとどまらず、うつ病や認知症、高血圧や糖尿病などの慢性疾患とも深く関連し、生活の質（QOL）にも大きな影響を及ぼします。

当院の睡眠外来では、精神科専門医が診察を担当し、心身両面から原因を評価した上で、適切な診断と治療を行います。必要に応じて、睡眠日誌やアクチグラフ（睡眠活動計）、質問票などによる睡眠評価に加え、他院との連携によるポリソムノグラフィー（終夜睡眠検査）などの精密検査もご案内いたします。

治療法については、睡眠衛生指導や認知行動療法などの非薬物療法を基本としながら、必要に応じて薬物療法も組み合わせさせていただきます。特に、ベンゾジアゼピン系薬剤の長期使用によりお悩みの方には、段階的な減薬や代替薬の検討も含め、安全かつ効果的な治療を心がけています。また、加齢や神経疾患に伴う睡眠の質の低下、ADHDや発達特性に関連する睡眠障害にも対応しています。特に最近では、未治療ADHD成人における睡眠構造の特性についての研究（Journal of Attention Disorders, 2023年）を通じて、当院でも専門的な知見を臨床に活かしています。

「なかなか寝つけない」「夜中に何度も目が覚める」「朝起きられない」「昼間に強い眠気がある」「家族にいびきや無呼吸を指摘された」「寝言や寝ぼけ行動が多い」など、お悩みの内容は人それぞれです。どんな些細なことでも構いませんので、一度睡眠専門がいる当院医師にご相談ください。私たちは、患者様一人ひとりの「よく眠れる日常」を取り戻すことを目指し、丁寧な診療を心がけてまいります。ご相談は予約制となっておりますので、ご希望の方はお電話または受付窓口までお問い合わせください。

医療法人雄仁会・社会福祉法人雄仁会 求人のご案内 《スタッフ募集中》

雄仁会の各施設では、資格をお持ちの方、経験のある方はもちろん、看護や介護の経験や資格のない方の勤務も歓迎します。パート勤務も可能です。お近くのハローワーク又は病院事務部にご遠慮なくご相談ください。応募される前に病院・施設見学も行っています。

[医療法人雄仁会ホームページ「採用情報」のページ](https://yuujinkai.com/recruit/)

<https://yuujinkai.com/recruit/>



医療法人 雄仁会 加藤病院
〒878-0013
大分県竹田市竹田1855番地
☎0974-63-2338

ホームページ <https://yuujinkai.com/>



社会福祉法人 雄仁会
〒878-0026
大分県竹田市大字飛田川1618-23
☎0974-63-3323



医療法人
社会福祉法人 雄仁会

令和8年1月
25号

広報誌

ゆうじんかい

基本理念

安全

信頼

満足

TOPICS

新 年 の ご 挨 拶

新年明けましておめでとうございます。令和8年は丙午（ひのえうま）です。丙は明るさ、午は前進を表すそうです。

昨年は秋まで猛暑が続き、やや涼しくなりほっとしていたところに、大分市佐賀関で大火災が発生しました。そして阿蘇市を震源とする竹田市で震度5弱の揺れがありました。その後、香港高層マンション火災、東南アジアの豪雨と災害が続きました。予想外の災害続きで、日頃の準備の大切さを再認識しています。なお雄仁会ではBCP（災害時業務継続計画）を策定し災害への備えや訓練を実施しています。

世界では、ウクライナとロシアの戦争は先行きが見えず、アメリカ、中国、韓国等との関係も安定感がありません。国内では女性初の高市総理が誕生し活躍が期待されています。内外に山積するいろいろなことに、明るい道筋を開いてもらいたいと願います。

2025年問題と言われた少子高齢化に伴う医療介護福祉への影響は予算だけでは解決せず、遂に働き手不足が深刻になってしまいました。日本各地で医療介護福祉のスタッフ確保がとて難しくなっています。雄仁会においても例外ではなく、スタッフの確保に苦勞しています。解決策のひとつとして、4月～5月頃に外国人技能実習生6名の採用を予定しました。病棟業務、介護業務を担う人材です。受け入れ体制を整えて、より良いサービスが持続できるように準備を進めています。

雄仁会は認知症への対応が充実しています。医療法人雄仁会は「加藤病院」（212床）、老人保健施設「岡の苑」（68床）、認知症グループホーム「和の郷」（9床）、有料老人ホーム「木もれ陽」（46床）、精神科デイケア「ステップハウス」（定員40名）、認知症デイケア「オレンジハウス」（定員125名）と、社会福祉法人の特養「こころの郷」（29床）、そして「大分県認知症疾患医療センター」や「こころの相談支援事業所」に指定され、相談、受診、治療、在宅支援、入院、入所、通所まで、医療・介護・福祉が連携しています。スタッフ一同は今年も地域に貢献していきます。

皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。



雄仁会 理事長
加藤 一郎

大分県認知症疾患医療センター

認知症疾患医療センターとは

「認知症疾患医療センター」とは、認知症患者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるための支援の一つとして、都道府県や政令指定都市が指定し、設置するもので、認知症疾患における鑑別診断、地域における医療機関等の紹介、問題行動への対応についての相談の受付などを行う専門医療機関です。大分県では、認知症疾患医療センターを県内8か所に設置しており、豊肥地域では唯一、加藤病院に設置されています。

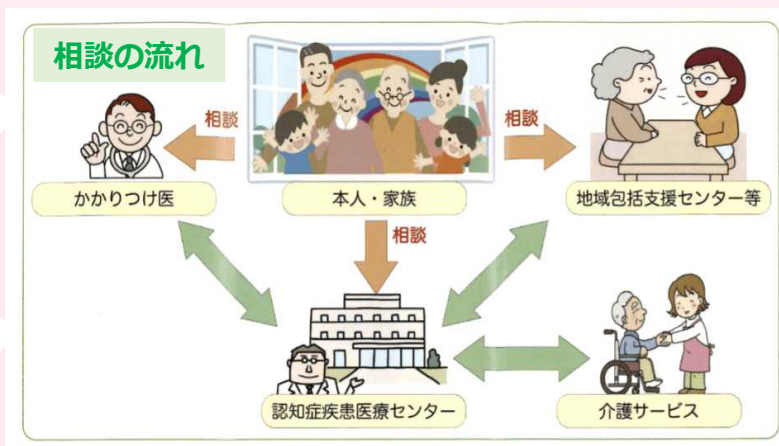
「最近物忘れをするようになった」「近頃、性格が変わったような感じがするが、認知症の始まりなんだろうか？」「昼間は落ち着いているけれど、夜になると一人歩きしている」「認知症と診断を受けてしまったけれど、これからどうしていけばいいのだろう」など認知症に関する悩みや心配ごとがありましたらぜひ当センターへご相談ください。

事業内容

1. 専門的医療機能

①鑑別診断とそれに基づく初期対応

認知症の鑑別診断（症状を引き起こす疾患を絞り込むために行う診断）を行います。具体的には、ご本人・ご家族との面談や年齢・日付や場所・記憶力・計算・物の名前などを質問する検査が行われます。さらに画像検査などにより認知症の診断を行います。診断結果に基づき、個々に応じた適切な治療方針を選定し、治療を行います。また、状況によって、他の医療機関や介護施設等のご紹介もいたします。予約制で保険診療となります。



②認知症の行動・心理症状と身体合併症への急性期対応

認知症の方で、問題行動・精神症状（幻視、物盗られ妄想、一人歩き、暴力等）が激しい場合の対応（入院治療含む）を行います。

③専門医療相談

認知症に関する心配ごとや困りごとについて、ご本人やご家族、関係者からの相談に専任の相談員（精神保健福祉士）が応じます。電話・面談無料です。

認知症の早期発見・早期対応、認知症予防の取り組みについて

豊肥圏域は、特に高齢化が特に高い地域であり、**MCI(軽度認知障害)**の段階にある人を早期に発見し適切に対応することで、認知症の予防を図り、健常な高齢者を増やすこと及び認知症への進行を遅らせるために、豊肥保健所、認知症疾患医療センター、竹田市、豊後大野市が中心となり、認知症サポート医、大分オレンジドクター、かかりつけ医等の協力を得ながら支援体制づくりを行っています。竹田市では、65歳、70歳、75歳の市民を対象に年に数回認知機能検査をおこなっております。検査は認知症疾患医療センターが竹田市から委託を受け行っております。検査は、集団認知機能検査（ファイブ・コグ）を使用しています。検査結果は、検査実施後に結果説明会にて検査受検者に報告されます。結果説明会では、認知機能を高める運動の紹介や保健指導も同時に行われます。

MCI（軽度認知障害）とは

- MCI (Mild Cognitive Impairment) は、認知症の前段階とされる状態で、以下の特徴があります。
- ◇記憶力や認知機能に低下が見られるが、日常生活には大きな支障がない
- ◇認知症ではないが、健常とも言えない「グレーゾーン」
- ◇適切な生活習慣や運動、食事などで改善する可能性がある
- ◇放置すると認知症に進行するリスクがある（年間約10%が進行）



▲認知機能検査概要説明・認知症予防講話（竹田市総合社会福祉センター）

2. 地域連携拠点機能

①認知症疾患医療センター地域連携会議の設置及び運営

認知症に関する地域課題の検討および各関係機関との連携強化の場として認知症疾患医療センター地域連携協議会を実施します。

②研修会の開催

認知症についての知識を広めるため、かかりつけ医や介護関係者等への研修会を開催します。

3. 診断後等支援機能

①診断後等の認知症の人や家族に対する相談支援

認知症の人や家族が、診断後であっても、今後の生活や認知症に対する不安の軽減が図られるとともに円滑な日常生活を過ごせるよう、かかりつけ医等の医療機関のほか、介護支援専門員等地域の介護に関する関係機関、地域包括支援センター等との連携の推進を図るため、診断後等の認知症の人や家族に対する相談支援等を行っています。

②当事者等によるピア活動や交流会の開催

地域で開催されている本人ミーティングや家族会に参加し、円滑にコミュニケーションがとれるように支援したり、認知症のケアについて講話を行ったり、有意義な活動になるように開催のお手伝いをしています。

4. アルツハイマー病の抗アミロイドβ抗体薬による治療・相談支援機能

アルツハイマー病の抗アミロイドβ抗体薬に係る治療を行うに際し、認知症の人や家族からの当該治療についての相談対応・支援、地域の医療機関からの相談対応、また地域の医療機関等と連携し、アルツハイマー病の抗アミロイドβ抗体薬に係る治療の適応外である認知症の人や家族への支援等を行っています。

5. 院外での活動

住民の方に対して、認知症について知ってもらったり、認知症予防のための講話を地域に出向いて行ったり、様々な院外活動をしています。具体的には、地域住民を対象に認知症予防講座を行ったり、認知症予防カフェでの脳のトレーニングを行ったり、また、小・中・高校生に認知症について学んでもらうために、認知症サポーター養成講座を行ったりしています。要望に応じて、各地域で活動しておりますので、お気軽にご相談ください。

◆お問い合わせ

大分県認知症疾患医療センター《加藤病院内》 Tel:0974-63-2263 (直通)

雄仁会劇団 稲葉よろうち座 寸劇を通じて、認知症を正しくわかりやすく

認知症は、実は誰にとっても身近なことであり、早めに専門医療機関を受診することが大切です。そこで、雄仁会では劇団「稲葉よろうち座」を平成21年5月に結成し、認知症を正しくわかりやすくご理解いただくために寸劇を行っています。『稲葉よろうち座』の命名については、稲葉川に代表される竹田の地で、単に「寄って」ではなく「誘い合って、支援し合って」という暖かみの感じられる「よろうち」としました。寸劇では日常生活でよくある場面を取り上げていますので、少しでも共感していただけたら、参考にいただければ嬉しく思います。

令和7年は、地域行事での公演や歳末助け合いチャリティーショーでご披露させていただきました。公演をご希望される場合は、加藤病院地域医療連携部までご相談ください。



▲竹田市くらしのサポートセンター 竹田南部あけぼの【R7.10.15(水)】



▲明治地区「蛸の里」 敬老のつどい【R7.9.14(日) 明治分館】



▲歳末助け合いチャリティーショー【R7.12.6(土) グランツたけた】